様式第１号

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 26 年度
１次評価日（主幹等）	27 年 月 日
２次評価日（課長等）	27 年 月 日

１ 事業名	「第４次総合計画」に沿って整理した事務事業名
２ 担当部課	評価表の作成者・所属

３ 事業概要	目的体系	基本目標	「第４次総合計画」に沿って整理した体系	
		政　策		
	予算科目	#N/A	業務委託	
	実施義務		国県補助	
	根拠法令			

●事業の内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		『この事業の受益者（この事業により便益を受ける人、この事業がなくなると困る人）のために、どのような状態にしたいのか』
目的	対象者	
	意　図	

５ 事業の実施内容

＊26年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

この事業の目的（項目４）を達成するために、市が行った具体的な取組内容

前年度の課題への対応	前年度の事務事業評価における課題に対する取組内容

６ 指標の達成状況

＊活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区　分	24年度	25年度	26年度	27年度（予算）
① 活動指標（指標名）	『この事業の目的（項目４）を達成するために、実際に市が働きかけた活動の量（行政サービスの量）』を数字で表したもの			
実績値				
＊指標の説明				
② 成果指標（指標名）	『この事業を実施することで得られる成果（この事業を実施することで得られる住民の満足度）』を数字で表したもの			
目標値				
実績値				
達成度				
＊指標の説明				
＊目標値の設定方法の説明				

7 ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

補助金負担金名	24年度	25年度	26年度	27年度（予算）
① 直接事業費				
経常経費				
臨時的経費				
＊臨時的経費の説明				
補助金負担金名				
② 人件費				
正規職員の人数（人）				
③ 合計コスト（①＋②）				
前年度比				
財源内訳　一般財源				
財源内訳　特定財源				
＊特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト				
前年度比				
⑤ コストに関する補足説明				

① 直接事業費
平成24年度～平成26年度は決算額
平成27度は予算額（当初予算）

② 人件費
正規職員の給与費・法定福利費・退職給与引当金相当額・福利厚生費等を含め、便宜的に、正規職員１人あたり年間８００万円として算出

④ 活動一単位あたりコスト
個々の活動にかかった費用
合計コスト（③）÷活動指標（項目６）

イ）補助金負担金の状況

［単位：件、円、％］

補助金負担金名		24年度	25年度	26年度	27年度（予算）
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額				
	割合				

当該事業における補助金負担金の件数、金額
（24～26年度は決算額、27年度は予算額）
27年度に新規の補助金が予定される場合も記載する

直接事業費に占める負担金等の金額

＊行が足りない場合は追加してください

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　**妥当性　低い**

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。		
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。		
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		

各項目で、
は　い＝１
いいえ＝０　とし、
合計　　５点＝高い
合計３～４点＝標準
合計０～２点＝低い

9 有効性評価

＊有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。　**有効性　#DIV/0!**

評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。			
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。			
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。			
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値　前年度比　#D		
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値　達成度　#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

各項目で、はい＝１点、
いいえ＝０点とし、
合計　　３点＝高い
合計　　２点＝普通
合計０～１点＝低い

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること） 事業の成果（項目６、８、９）を高めたり、少ない費用で大きな効果をあげていく上で、問題や障害になっている内容
改善方法	（上記の課題をふまえて27年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 上記で把握した課題を解決するための、具体的な改善と改善時期
改善開始時期	

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	この事業に関する次年度の方針	12 施策評価による27年度の優先度 *H25年度施策評価表より転記すること	事業の優先度